

2021年3月19日 FD企画

「対面授業における感染防止対策」に関する説明会【質疑応答】

	質問	答え
1	様々な理由でマスクを着用することができない学生への対応はどうしたらよいですか。	感覚過敏などによりマスク着用が困難な学生については、学生オフィスに相談に行くようお願いください。マスク着用が困難であることを示す意思表示カードを渡す等の配慮を行うことがあります。また、マウスシールドやフェイスシールドの着用が可能な場合、マスクの代替とすることもあり得ます。
2	教室内でものを触ることでの感染のリスクはどれくらいありますか。	教室にかかわらず、生活の中で物品を介して感染するリスクはあります。ウイルスに触れただけでは感染しませんが、その手で顔（目・鼻・口）に触れることが感染のリスクを高めます。手指消毒を徹底し、体内にウイルスを入れない行動を意識してください。
3	フェイスシールドの使用について、曇り防止のために下半分を切ることは、感染防止対策において問題ありませんか。	フェイスシールドは本来、直接飛沫が目に入るのを防ぐために用います。面積が大きいほど有効ですので切ることはお勧めできません。但し、大学では全員がマスクを着用しているため直接飛沫が顔に飛んで来ることはないと考えられますので、フェイスシールドは必ずしも必要ありません。
4	学生が使用した机や椅子は学生自身が消毒するのですか。	学生自身へ使用後の消毒を求めることはありません。なお、春学期開始までに、什器を含めて全教室の抗菌処理を行います。また、開講中は毎日夜間に教室の消毒を行います。
5	ピンマイク用のカバーはありますか。	ありません。マイクと同様にビニールを被せて使用してください。
6	コロナウイルスの変異種に対する対応はこれまでと同じでよいですか。	対策は基本的に同じです。
7	対面授業でグループワークをする際の留意点や有効な感染防止策を教えてください。	基本的なルールを守り、正面に座らずに斜交に座るなど、座る位置を工夫してください。グループワークはオンラインが安心です。
8	情報処理演習の授業で教室に備え付けのPCを使用します。入室時の個人の手指消毒で効果は期待できますか。	入室・退室時に手指消毒を行ってください。また、ゴム手袋の貸し出しも行っています。
9	消毒液は各教室に設置されていますか。	ありません。教員ラウンジや学部事務室、研究科事務室で貸し出ししていますので、利用してください。